

# 業務部速報



No. 29

発行 24. 11. 15

JR東労組 業務部

申  
5  
号

組合員・社員の労働実感と生活実感の切実な現実と声に応え、現場第一としない経営姿勢の是正を求める**年末手当に関する緊急再申し入れ** 団体交渉を行う！②

年末手当緊急アンケートや各地本で集約した声を受け止めるならば、回答を再考すべきだ！寄せられた17,000件を超える声のホンの一部を訴える！



## 【労働実感】

中長距離が弱い、東北新幹線が弱い、インバウンドで東日本が取り込めてない。それって誰の責任ですか？東北新幹線は事故続き。その度に払戻しで謝罪、改札で謝罪。乗りたいって言うお客さまいなくなりますよ。それをあたかも職場のせいにししないでください。企画業務や複数駅で今まで以上の働き度と超勤、ストレス感じてるの分かりませんか／社員をバカにするのも大概にしろ。出さない理由を点呼で駅長から言われるが皆んな呆れている。労働実感を見ていないから現場との乖離が生まれている。どうせ何やっても変わらないと諦めている。働く社員が諦めている会社のどこに未来があるのか。社員の不満溢れている。そんな会社に誰が入りたいと思うのか。だから、離職が止まらない。全然受け止めていない／車両に不具合が生じた際、運転に支障がない場合は何年もそのまま運用している。コストダウンと称し、修繕費を削減して安全を疎かにしている。納得できない／働き度は上昇し続けている／好調な決算は我々が現場で必死に奮闘しているからだ

## 【生活実感】

物価高で日々の生活は苦しくなっている。年末手当が生活給になっているのに対して、この回答は社員のことを考えているとは思えない／卵や米の値段が尋常ではないくらい高騰している。それでたった0.1ヶ月上げただけで大きな顔をされても困る／物価上昇に対して0.1ヶ月では到底賄えない。バカにしているのか／転勤により単身赴任。出費がかさんでいる。どれだけ苦しい生活を余儀なくされているのか現実を分かっていない／家族から「0.1ヶ月ではなく1.0ヶ月の間違いではないのか？0.1ヶ月で何の足しになるのか。生活実感に踏まえる0.1ヶ月は世間から理解されない」と言われた／酷暑で電気代が大変だった。これから冬を迎えるのに0.1ヶ月とは情けない／0.1ヶ月を金額にするとたったの3万ちょっと。それで物価上昇分を賄えということなのか。しかも構造改革の進展と成果を合わせての数字。これでは焼け石に水だ

## 【社友会の会員の方からも多くの声が届いている！】

欠員で減員ダイヤと休出が恒常化している。統括化による融合化のメリットなし、見習やって異動して何も還元されず／構造改革に順応し収益の結果を出しているのにずっと手当の水準が低いまま。私たちにはテキトーな理由をつけて出さない。もはやバカにされてる／平均支給額100万円超えとか、入社2年目、3年目には関係ない話だ。これだけ頑張っただけ、たった0.1ヶ月のプラスしかないんじや、転職考える／これ以上、何をやればいいのか分からない

本社社友会ニュース  
...今回の年末手当では、厳しい生活実感に対する私たちの意見をしっかりと考慮いただいたものと受け止めています。...

ある職場の「本社社友会ニュース」という掲示には、このように書かれています...



## 会社

声をしっかりと受け止めた中で、様々な要素を勘案して今できる最大限の回答をしている。

社員をバカにしていない。真摯に議論してきている。より安心して働いてもらえるように処遇改善など含めて行っている。

回答書に記載の通り、構造改革の進展と成果、物価上昇等の社会情勢の変化に伴うものである。0.1ヶ月が物価上昇分ということではない。

回答は変わらない！



## 組合

「会社は社員の声を受け止めていない」「社員をバカにするな」という声は実際に寄せられているが、回答を再考する考えはないのか！

特に0.1ヶ月を加えて支給するという回答は、到底理解できず納得いかない。厳しい生活実感を受け止めた回答ではない！

回答の修正を求める！